

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 14名回答、回答率 88%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・基準の職員体制は満たしているものの、主に送迎の時間帯において教室内の職員数が限られてしまうことによって、安全管理の目が届きにくいこともあるため、送迎の調整や配置の工夫が必要である。
- ・教室内のバリアフリー化について、段差等の気になる部分もあるが、職員を段差のある場所に配置したり、利用者への補助に入ることにより、安全委配慮した対応をしている。

○業務改善

- ・アンケートや送迎等の際に保護者様から頂いた要望について、全職員ですぐに共有を行い、スピード感をもって対応し、日々の児童対応の改善に活かしている。
- ・職員同士で業務分担を行うことで、効率よく業務を進めることができている。

○適切な支援の提供

- ・日々の業務前ミーティングでの情報共有や、支援後に一日の振り返りを行うことで、職員同士が相談しやすい環境を作り、児童の様子や課題等を共通理解し、統一した支援ができるよう取り組んでいる。
- ・学年や個別支援計画に沿った活動や季節に合わせた活動を積極的に取り入れている。

○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時や家庭連携を通して、児童の様子を的確に把握し、保護者様の悩みや相談にも対応できるよう努めている。
- ・学校からの引継ぎ時に児童の様子を細やかに聞き、統一した支援ができるようにしている。
- ・保護者様から学校との面談のご希望があるため、今後対応を行っていく必要がある。

○保護者への説明責任等

- ・毎月発行しているニューズレターや連絡帳、送迎時の引継ぎ等を通して、日々の活動内容や児童の様子について細やかな報告を行い、スタッフと保護者様が共通認識を持って支援を行うことができるよう取り組んでいる。

○非常時等の対応

- ・毎月の避難訓練を通して、災害が発生する状況や避難方法に関する動画を視聴した上で、地震、火災、水害等、様々な場面を想定した実践的な訓練を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・児童の活動スペースに関して「何も置かれていないスペースが広く、動きが制限されていないのでありがたいです！」「棚が整理されており余計なものがなく、片付けなどお手伝いがやりやすいようです。」というご意見をいただいた。
- ・職員の専門性や配置数に関して、「いつも丁寧に見ていただいてありがたい」、「ドライバーの補充をして頂けると嬉しい」というご意見をいただいた。
- ・事業所の設備に関して、「階段が急で、エレベーターも開閉が早い為、子供が自己入室するようになるには少し心配です」というご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・活動プログラムに関して、「学校ではなかなか参加できない活動でも、教室でならスムーズにできていたりします。経験の幅を広げたり、できた！という気持ちを持たせてくれる活動をたくさん行って頂けていると坎じます。」とのご意見もあり、多くの保護者様に評価いただきました。

○保護者への説明等

- ・日頃の児童の様子に関する情報共有や、子どもの課題に関して共通認識のもとで支援を行うことができているかの質問に対して、全員の方から「はい」というご回答をいただきました。

○非常時等の対応

- ・災害に備えた訓練についての支援に満足しているかの質問に対して、9割の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。
- ・災害対応に関するマニュアルの周知については、「わからない」との回答もあったため、周知方法については工夫を検討する必要がある。

○満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしているかについては、「今日はスマートキッズの日だ！と1日の始まりが楽しそうです」、「とても楽しみにしていて活動内容を熟知しています」とのご意見をいただきました。
- ・事業所の支援の満足度に関しては、「本当に大変お世話になって感謝しています。」、「いつも丁寧に対応していただきとても感謝しています。」とのご意見をいただきました。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・教室内の整備と整理整頓を通して、安全で過ごしやすい訓練室にできるようにする。
- ・公園や図書館、都、区の施設等の利用を通じて、地域の方々や関係機関との交流を増やす。
- ・オンラインを活用し、関係機関、保護者様との交流、連携を図る。
- ・避難訓練をはじめ、災害・防犯等の訓練を組み合わせ、非常事態への備えを強化する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・教室の清掃や環境整備を行い、支援に適切な環境を保つことができていた。
- ・長期休暇や祝日開室には、課外活動を行い、地域交流を行うことができた。
- ・避難訓練では児童の車内置き去りに対応する訓練も行い、幅広く取り組むことができた。
- ・オンラインを活用し、関係機関、保護者様との交流、連携を図っていきたい。

▶▶ アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・児童が通所を楽しみにしているというお声を多く頂き、今後も保護者様が安心して預けることのできる教室づくりに努めていく。
- ・保護者、学校と積極的に情報共有を図り、共有内容をスタッフ間でもシェアすることができている。

○改善点

- ・保護者様との連携に加え、学校や関係機関と面談等を通して連携し、統一した支援を提供すること。
- ・緊急時や防犯等の各種マニュアルの保護者様への周知。

▶▶ 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・職員体制を整え、安定した教室運営を行う。
- ・周辺地域や関係機関との関わりを増やす
- ・保護者会の実施、保護者様同士の交流の場を提供する
- ・災害時の対応に関して保護者様への周知を図る

○1年間で取り組む具体策

- ・送迎調整や職員配置を工夫し、安定した教室運営を行う体制を整備する。
- ・保護者会の実施等、保護者間の交流の場を設ける。
- ・学校との面談等を通して、児童に対して共通認識を持って支援を行っていく。
- ・災害時のマニュアル等を保護者様に配布し、周知する。
- ・療育活動時の公共施設の利用を通して、継続的に地域交流を行っていく。

スマートキッズ